

主な輸出先国	台湾、香港等(2023年)	輸出実績	125百万円（2024年）
対象となる地域	山形県寒河江市・西村山郡大江町・朝日町・西川町・河北町・東根市		

輸出産地の概況

- 2004年頃より県内輸出事業の先駆けとして台湾向けりんごの輸出を本格開始。需要の多い台湾向けを中心に県内2JA（JAさがえ西村山、JAさくらんぼひがしね）と連携して輸出を実施。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- 台湾向けとして選果こん包作業および検品の徹底、残留農薬基準に対応した栽培指導、輸出専用の出荷資材の作成等をはかっている。
- 需要に応じて「スマートフレッシュ」活用による鮮度保持をはかっている。

アピールポイント

- 山形県は寒暖差が大きいことから果実は糖度が高く、高品質産地として全国で高く評価されている。安定品質、安定出荷を強みに、海外ニーズに応えるべくJAグループ一体となった輸出産地づくりを進めている。



台湾向け選果作業・検品



JAグループ連携による輸出産地づくりキックオフ会議



段ボールパレット輸送試験



台湾における試食宣伝会